

作成 令和5年5月30日

# 環境経営レポート

(令和4年4月～令和5年3月)



株式会社シンテツ

# 目次



●環境方針 .....	1
●組織の概要 .....	2
●事業の概要 .....	3
●環境管理組織図 .....	4
●環境目標、計画 .....	5
●環境活動の取り組み方法 .....	6
●環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無 .....	7
●取組結果の実績、評価、次年度への取り組み .....	8
●代表者による全体評価と見直しの結果及び今後の取り組み .....	9

# 1. 環境方針



## 【基本理念】

株式会社シンテツは地球環境の保全が人類共通の最重要課題のひとつであることを認識し、「自然環境の保全につとめ、環境に配慮したより良い事業活動を行う」ことを基本理念とします。

当社が行う解体工事、産業廃棄物の中間処理、及び収集運搬、リサイクル活動を主事業としていることを踏まえ、以下の環境方針に基づき環境管理を行います。

## 【環境方針】

基本理念に基づき、環境方針を次のように制定する。

1. エコアクション21の要求事項を満たす環境マネジメントマニュアルを制定し、確実に実行・維持するための役割と責任を明確にした環境マネジメントシステムを確立します。
2. 解体工事、廃棄物の中間処理、収集運搬業および資源のリサイクル業に関わる事業活動が環境に与える影響を常に認識し、環境汚染の防止並びに環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
3. 環境に関連する法規制・条例及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
4. 事業活動に伴う環境側面の内、次の環境目的・目標の設定を行い、定期的に見直しを行います。
  - a) 運搬車輛、重機等の燃料削減に努めます。
  - b) 電気使用量削減に努めます。
  - c) 事業活動を通じて資源のリサイクルに努めます。
5. 施設周辺の美化清掃に努めます。
6. この環境方針は文書化して、全従業員に教育・訓練を行い、周知徹底を図ります。
7. この環境方針は、一般に公開します。

平成27年10月13日

株式会社シンテツ  
代表取締役 河野哲也

環境管理責任者 河野新一

## 2. 組織の概要



### (1) 事業者明及び代表者名

株式会社 シンテツ

代表取締役 河野 哲也

### (2) 所在地

本社及びリサイクルセンター

広島県廿日市市木材港北 5-20

第2工場

広島県廿日市市木材港南 5-3

工事部資材置き場

広島県廿日市市佐方 1022

### (3) 法人設立年月日

平成 14 年 6 月

### (4) 資本金

3000 万円

### (5) 事業の規模

従業員数 117 名 (令和 5 年 5 月現在)

総務部門

工事部門

回収部門

リサイクル部門

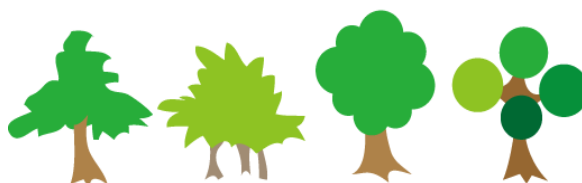
売上高

	31 年度	令和 2 年度	令和 4 年度
売上高 (単位：百万円)	2,303	2,394	2,902

### (6) 環境管理責任者名及び連絡先

環境管理責任者 河野 新一

連絡先 TEL 0829-32-4627



# 3. 事業の概要



## (1) 処理実績

産業廃棄物処分量実績

100,531 m<sup>3</sup> (56589.48 t)

(令和4年4月～令和5年3月 工場受入)

収集運搬量実績

185,817 m<sup>3</sup> (55745.38 t)

(令和4年4月～令和5年3月 工事部、回収部、リサイクル部合算)

## (2) 処理料金

別途、見積もりによる

## (3) 事業の種類

産業廃棄物処分量業（中間処理：破碎、切断）

産業廃棄物収集運搬業

解体工事業（建設業）

リサイクル原料の販売

許可内容

許可の種類	許可自治体	許可番号	許可期限
産業廃棄物処分量業	広島県	第 03421099574 号	H29.3.27 ~ H36.3.26
許可品目	廃プラスチック、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず及びがれき類（これらのうち廃プリント配線板、廃ブラウン管、鉛製の管又は板、廃石膏ボードを含む）		
産業廃棄物収集運搬業	広島県	第 3401099574 号	H29.3.27~H36.3.26
	山口県	第 03501099574 号	H29.11.26~H36.11.25
	島根県	第 3304099574 号	H30.3.16~H37.2.27
	岡山県	第 3304099574 号	H25.5.21~H37.5.15
許可品目 （全許可番号共通）	廃プラスチック、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず及びがれき類（これらのうち廃プリント配線板、廃ブラウン管、鉛製の管又は板、廃石膏ボードを含む）		
建設、とび・土工、建築、大工、左官、石、屋根、タイル・れんが・ブロック、鋼構造物、鉄筋、板金、ガラス、塗装、熱絶縁、建具、防水、内装仕上 解体工事業	広島県	広島県知事（特-3）31782	有効期限 令和8年8月4日

(2) 保有施設、重機、車両

破碎施設

設置場所 広島県廿日市市木材港北 5-20

破碎機	メーカー	破碎品目	処理能力
SP シュレッダ	富士興業(株)	木くず	80 t/日
		繊維くず	42 t/日
		紙くず	35.04 t/日
ワニコング	赤江機械工業(株)	ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず がれき類	64 t/日
シュレッドイーグル	富士興業(株)	廃プラスチック	3.2 t/日
		金属くず	4.8 t/日
		繊維くず	4 t/日
		紙くず	3.2 t/日

設置場所 広島県廿日市市木材港南 5-3

HI プラスターボ	(株)細田企画	石膏ボード	39 t/日
-----------	---------	-------	--------

保有重機、バックホー

名称	メーカー	能力		保有台数
SK550 ロングアーム	コベルコ	1.6m <sup>3</sup>	クラス	2 台
SK350 ロングアーム	コベルコ	1.2m <sup>3</sup>	クラス	1 台
SK350 セパレートブーム	コベルコ	1.2m <sup>3</sup>	クラス	1 台
SK210HD	コベルコ	0.7m <sup>3</sup>	クラス	2 台
SK200	コベルコ	0.7m <sup>3</sup>	クラス	2 台
SK135SR	コベルコ	0.45m <sup>3</sup>	クラス	3 台
SK70、SK75SR他	コベルコ、 新キャタピラー三菱	0.25m <sup>3</sup>	クラス	6 台
K-035、SK30 他	コベルコ、クボタ	0.15m <sup>3</sup>	クラス	6 台

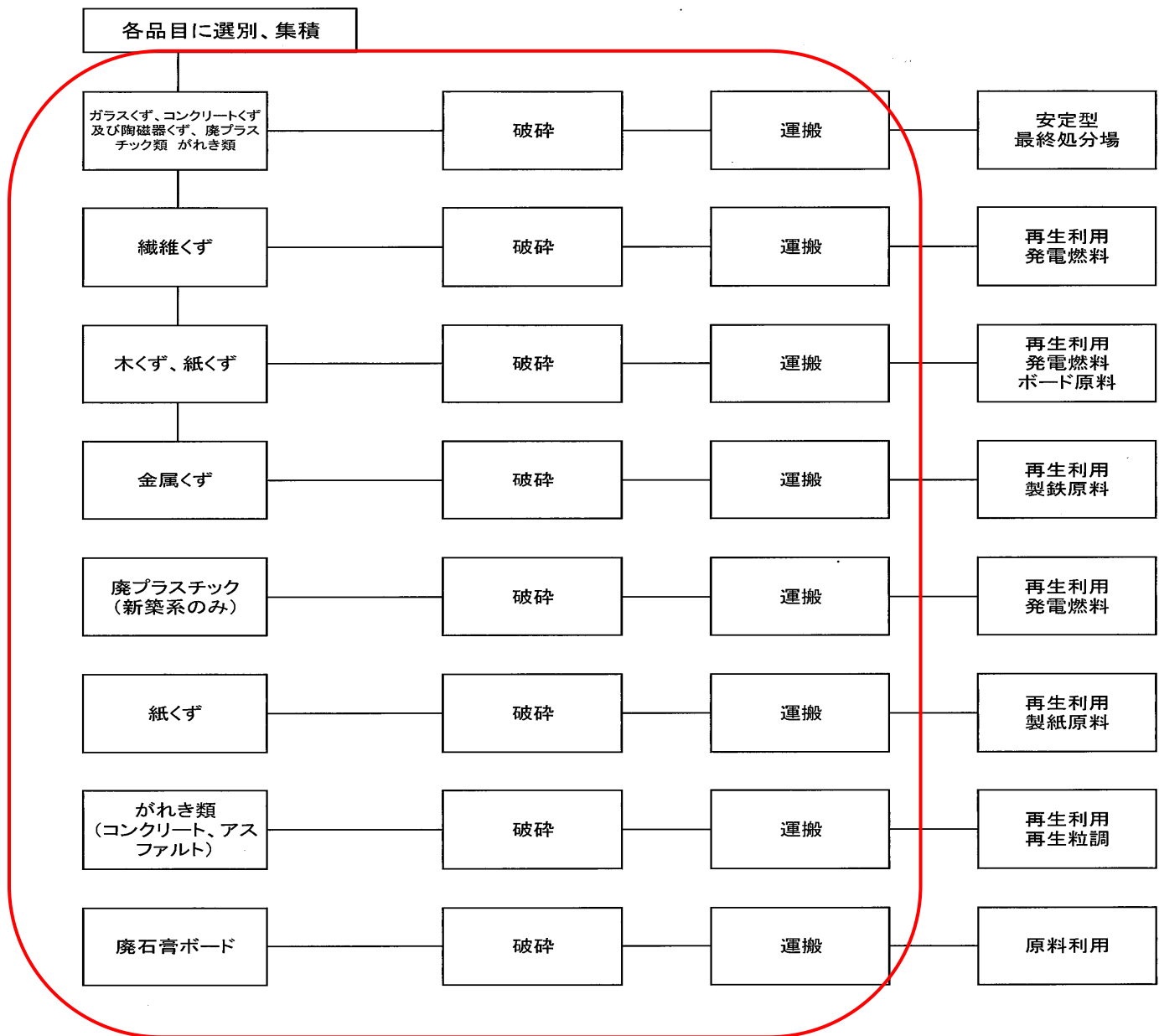
ホイールローダー

名称	メーカー	能力	保有台数
910G	新キャタピラー三菱	2.3m <sup>3</sup>	1 台
LK40Z	コベルコ	0.4m <sup>3</sup>	1 台
LK80Z	コベルコ	0.9m <sup>3</sup>	1 台

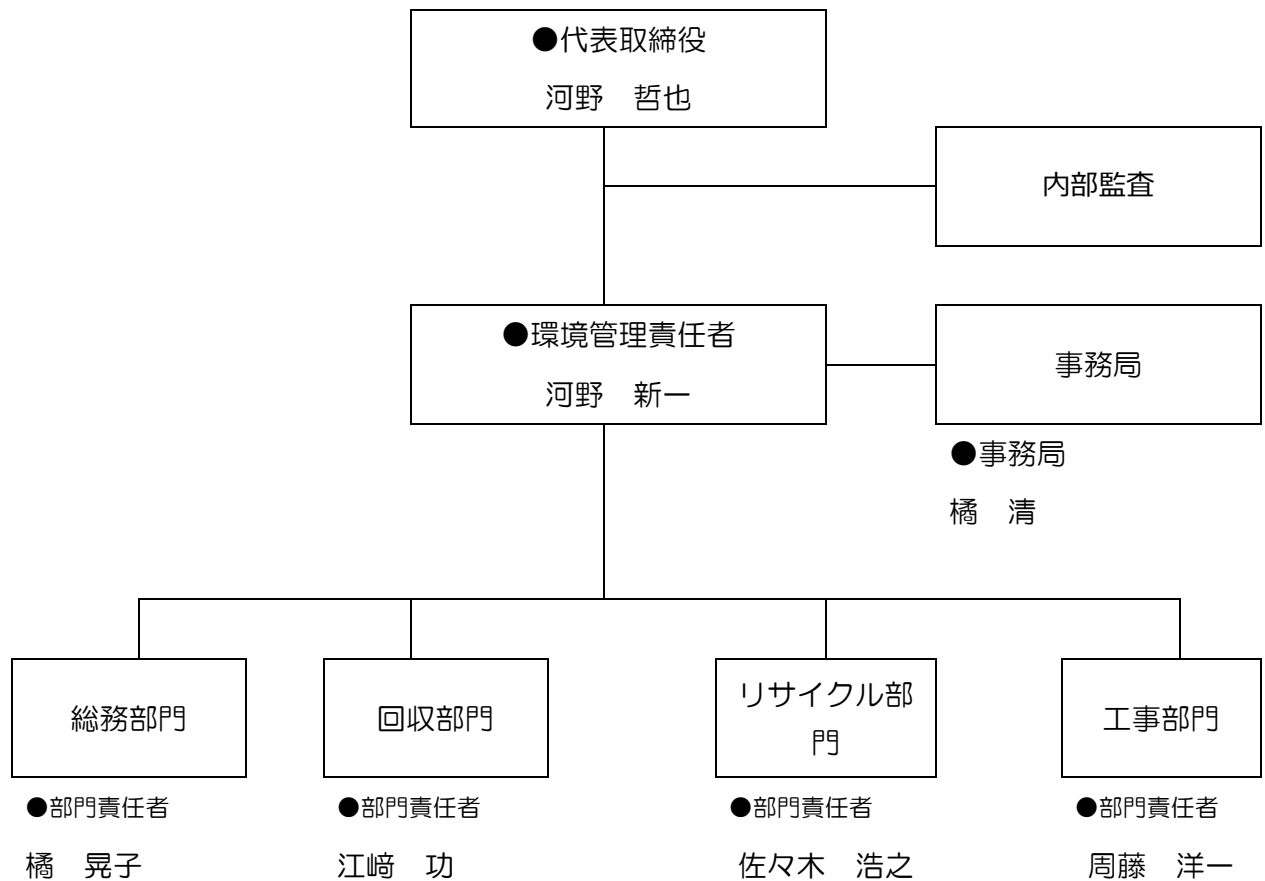
保有車両

ダンプ	10t 車	6台
	8t 車	2台
	4t 車	12台
	2t、3t 車	28台
	軽トラ	1台
ユニック車	4t	1台
大型台車	10t 車	1台
営業、通勤車両	普通車	9台

(3) 産業廃棄物処理フロー図 (自社処理)



# 4. 環境管理組織図



	役割・責任・権限
代表者	環境経営に関する統括責任、・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間能技術者を用意、環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知、環境目標の設定を承認、代表者による全体の評価と見直しを実施、環境活動レポートの承認
環境管理責任者	環境経営システムの構築、実施、管理、法規制等の要求事項登録簿を承認、環境活動実施計画書を承認、環境活動の取組結果を代表者へ報告、環境活動レポートの確認
事務局	環境管理責任者、E A 2 1 推進会議の事務局、環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施、「環境関連法規等チェックリスト」の作成、環境目標・環境活動実施計画書原案の作成、環境活動実施計画の実績集計、環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	自部門における環境経営システムの実施、自部門における環境方針の周知、自部門の従業員に対する教育訓練の実施、自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告、特定された項目の手順書作成及び運用管理、自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録、自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	環境方針を理解と環境への取組の重要性を自覚、決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加



## 5. 環境目標、計画



株式会社 シンテツの環境目標は、以下の通り定め、削減、向上に努力しています。

項目	部門	目標基準値 (平成27年1月～ 平成27年4月までの平 均値)	2023 年度	2024 年度	2025 年度
電力使用の効率的削減	サイト 全体	2.86kwh/m <sup>3</sup>	2.65kwh/ m <sup>3</sup> (6%削減)	2.65kwh/ m <sup>3</sup> (7%削減)	2.65kwh/ m <sup>3</sup> (7%削減)
車両燃料の使用削減	サイト 全体	2.03ℓ/m <sup>3</sup>	1.84ℓ/m <sup>3</sup> (8%削減)	1.82ℓ/m <sup>3</sup> (9%削減)	1.8ℓ/m <sup>3</sup> (10%削減)
重油燃料の使用削減	サイト 全体	1.85ℓ/m <sup>3</sup>	1.7ℓ/m <sup>3</sup> (8%削減)	1.7ℓ/m <sup>3</sup> (8%削減)	1.7ℓ/m <sup>3</sup> (8%削減)
リサイクル率の向上 (工事部門を除く)	リサイ クル部	68%	73.4% (%向上)	73.4% (8%向上)	73.4% (8%向上)
リサイクルルートへの 搬出の向上 (工事部門)	工事部	86%	92% (7%向上)	92% (7%向上)	92% (7%向上)
社会的貢献	全体	毎週土曜に本社、 第2工場周辺の清掃	維持	維持	維持
水使用量の削減	全体	350m <sup>3</sup> /月 (工事現場は未計測)	維持		
環境物品の購入	全体	7点/月	維持		

\*水使用量は、工事部門の現場集計が困難なので、使用量の削減取り組みを継続しつつ、目標値は設定しておりません。

\*環境物品の購入は事務用品、低燃費車両、低燃費重機等を積極的に購入検討いたします。

\*目標基準値単位の/m<sup>3</sup>はサイト全体の産業廃棄物取扱量としています。

\*科学物質は使用していません。



## 6. 環境活動の取り組み方法

項目	部門	取り組み方法
電力使用の効率的削減	サイト全体	エアコンの設定温度調節（夏季26℃、冬期22℃） エアコンフィルターの清掃（6月・11月） 不必要な電気はこまめに切る（4月～） 設備の無駄な運転をしない（4月～） 廃棄物の破碎をまとめてする 破碎機の同時立上の禁止
車両燃料の使用削減	サイト全体	アイドリングストップの励行 急発進・急加速・急停車・空ぶかしをしない エアコンの使用を極力避ける 運行前点検を行う 的確なギアを選択し適正なエンジン回転数で走行する
重油燃料の使用削減	工事部門 リサイクル部門	作業前点検を行う アイドリングは5分以内とする 作業内容によって、エンジンの回転数を調整する 運転席から離れる時はエンジンを止める
リサイクル率の向上 （工事部門を除く）	総務部門 回収部門 リサイクル部門	種類の選別をできるだけする 再利用できる廃材は再利用する 水濡れボードはなるべく乾かして処理する リサイクル方法を模索しリサイクルの促進に努める
リサイクルルートへの 搬出の向上 （工事部門）	工事部門	分別をできるだけする 積み込み時に他の廃棄物と混ざらないように積み込む 混載で運搬する場合は分別できるように積み込む ボードを運搬する時にシート掛けをする
社会的貢献	サイト全体	毎週土曜日は、本社、第2工場周辺、工事現場周辺を清掃する
水使用量の削減	サイト全体	散水は必要以上にしない
環境物品の購入	サイト全体	事務用品、低燃費車両、低燃費重機等を積極的に購入する

## 7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

弊社事業活動に関わる廃棄物処理法、建設リサイクル法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音規制法、振動規制法等の環境関連法規等の遵守はできておりました。

また、関係当局からの指摘、指導もなく訴訟もありませんでした。

## 8. 取組結果の実績



項目	部門	期間（令和3年4月1日～令和4年3月31日）		結果 (○×)
		目標 (目標基準値より)	結果 (二酸化炭素総排出量)	
電力使用の効率的削減 (年間の Co2 排出量)	サイト全体	2.65 kwh/m3 (7%削減)	2.96 kwh/m3 (89.5%) (170.07t-CO2)	×
車両燃料の使用削減 (年間の Co2 排出量)	サイト全体	1.86 ℓ/m3 (8%削減)	1.79 ℓ/m3 (103.7%) (712.5t-CO2)	○
重機燃料の使用削減 (年間の Co2 排出量)	サイト全体	1.7 ℓ/m3 (8%削減)	2.0 ℓ/m3 (85%) (680.2t-CO2)	×
リサイクル率の向上 (工事部門を除く)	リサイクル部	73.4% (8%向上)	67% (91.3%)	×
リサイクルルートへの搬出 の向上 (工事部門)	工事部	92% (7%向上)	90.6% (98.4%)	×
社会的貢献	全体	維持	維持	○
水使用量の削減 (年間の Co2 排出量)	全体	350m3/月 維持	275.5m3/月	○
環境物品の購入	全体	7点	7.5点 (108.3%)	○

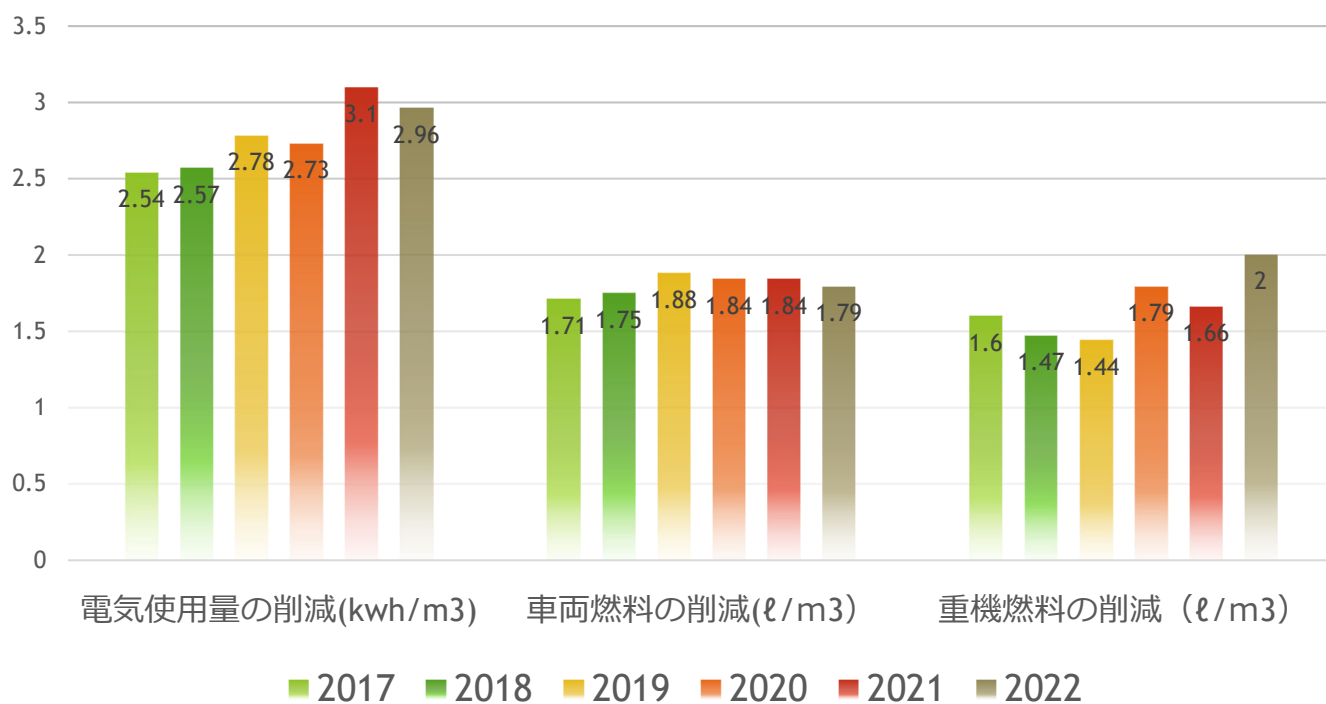
\* 温室効果ガス総排出量算定方法

環境省ガイドライン排出係数使用

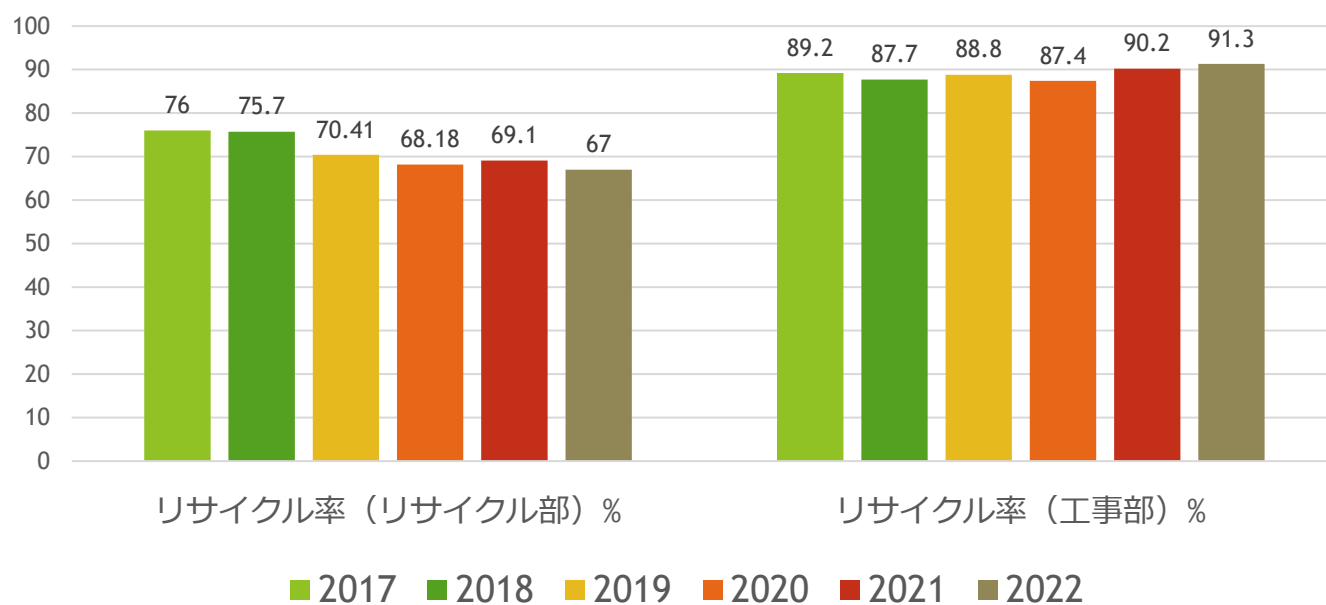
電力 0.000551 t-CO2/kwh

重機、車両燃料（軽油）0.00258 t-CO2/ℓ

## 取り組み結果の実績



## 取り組み結果の実績



## ・ 取組結果の評価、次年度への取り組み

項目	部門	取組結果の評価
電力使用の効率的削減	サイト全体	達成できませんでした。 連続3期で達成できませんでしたので次年度も同じ目標といたします。取り組みは継続します。
車両燃料の使用削減	サイト全体	達成できました。 今後も継続していきます。
重油燃料の使用削減	サイト全体	達成できませんでした。
リサイクル率の向上 (工事部門を除く)	リサイクル部	達成できませんでした。 連続3期で達成できませんでしたので次年度も同じ目標といたします。
リサイクルルートへの 搬出の向上(工事部 門)	工事部	達成できませんでした。 連続3期で達成できませんでしたので次年度も同じ目標といたします。取り組みは継続します。
社会的貢献	全体	引き続き清掃活動を続けます。
水使用量の削減	全体	達成できました。
環境物品の購入	全体	達成しました。 今後もエコ事務用品、低燃費車両、低燃費重機等を積極的に検討し購入します。

## ⑨. 代表者による全体評価と見直しの結果及び今後の取り組み

目標の達成ができない項目が増えてきました。今までの活動方法は継続し、目標値を達成できるように頑張りましょう。

事業活動自体が環境への影響が大きく、また貢献できる仕事です。

いろんな方法を考えていきましょう。

